

★佐倉市訪問：Q（茅ヶ崎）&A（佐倉市＋臼井ふるさとづくり協議会）より

＊9町会7団体2700世帯／臼井小学校区／平成19年設立。23学区中14学区で協議会あり

＊自治会連合協議会で何かを決めることは基本的にない。

＊回覧物は基本的に自治会回覧、市広報紙は新聞の折り込み、回覧が届かない地区には新聞の折り込み

＊まち協として祭礼はしていない。全住民が参加する広域防災訓練がある。

＊社会福祉協議会の会費は一軒500円、日赤の社費が500円、自由意思、町内会費から支出しない。

＊交通費を計算する場合に1キロメートル37円

＊協議会を特別な団体とは見ていない。自治会もまち協も社協も諸団体も並列。

＊まち協は公的認定を与える、団体としてお墨付きは与えている、地域の総意となる代表的な団体として条例、規則に基づくお金を出すこと、市職員の担当を付けること以外は（他の団体と変わり）はない。

＊Q：協議会を作ることについて各地区に勧めることはしているのか。各地区に任せているのか。

A：そもそもの趣旨が地域の自発的な意識の問題で、一方で市の説明不足のために地区に根づかないのであれば地域で説明をするようにしている。

＊気が付いたところ・・・4部会で福祉は社協まかせで部会はない。事業部会は遊び／クリーン／ウォーキングのみ。ゴミ収集は自治会とは無関係で佐倉市の仕事（自治会の無い地域もある）。全体に地域の自主性尊重が強い、上からまとめる方向ではない、メリットデメリットあることは自覚している。

★まちぢから協議会の視察研修について

＊メールで意見募った⇒まちぢから協議会の多くの構成団体が参加できるように、の意見が出ている。

＊平松案⇒視察でなく箱根程度で意見交換会＋合宿、意見交換会日帰りもあり。

★まちぢから協議会への自治会の参加不参加

前回運営委員会で美住町水島さんから問題提起⇒まちぢから協議会への参加不参加は美住町の住民判断を尊重。まちぢから協議会のかかえる様々な課題や問題点はまちぢから協議会の運営を進める中で常に目を光らせ続ける。特別な「まちぢから研究会」などは設立しない。

★まちぢから協議会HPの現状

＊閲覧2439回

＊更新⇒27（自治協3、行政1、団体情報3、団体広報4、写真11、コミセン1、まちぢから協議会2、

＊個人からの投稿を受け付ける、と明記⇒今のところ反応は0

＊自治協の情報の掲載を始めた⇒定例会議事録4、先進都市視察報告

＊まちぢから協議会自体の活動報告⇒運営委員会議事録、部会作成資料

＊行政からの情報⇒地域コミュニティにかんする市の取り組み、考え方⇒自治推進課の協力

＊団体情報、団体の広報⇒ここに力をいれたい。1回／月程度、各団体にメール、運営委員会で依頼。

・・・以上・・・